

ききょう苑通信



発行月
2026年1月
第39号



発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設
「ききょう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日)
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目 6-1237
TEL: (0463) 92-8101 E: kikyoen@showakai.or.jp

新春のお慶びを申し上げます

旧年中は、当施設への温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年も、皆様の笑顔と健康を支える施設づくりに努めてまいります。

皆様にとって、穏やかで希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

創立記念祭開催



2025年11月9日(日)、創立記念祭を開催いたしました。
昨年は当苑が創立して25周年と記念すべき年であり、ご利用者、ご家族、地域の方、多くの方々に来苑していただき、皆様と一緒に創立記念祭をお祝いすることができ、心より感謝申し上げます。

今回は「楽しさ満祭 笑顔満祭 25周年創立記念祭」をコンセプトとし、ご利用者が一番に楽しめ、ご家族・地域の方々との交流も兼ねた、お祭りを目指し進めてまいりました。模擬店では、ヨーヨー釣りやメダカすくいを行い、普段見られない俊敏なご利用者の姿や、ご家族も夢中になっている姿がとても印象的でした。

そよ風ハウスさんに出店していただいた、手づくりパンやフリーマーケットも多くの方々から大盛況でした。飲食では、焼き鳥、焼きそば、フランクフルト、豚汁、チュロス、シュークリームを販売し、入所ご利用者限定にはなりますが、昼食で同様に提供し、焼き鳥やフランクフルトなど普段とは違う、お祭りならではの食事を楽しんでいただきました。

体験コーナーでは、しおり作り、花かごの飾り付けやリハビリ職員によるボッチャ体験、看護師による手洗いチェックと、介護老人保健施設ならではの体験をご用意させていただきました。作成や体験を、ご家族と一緒に楽しんでいただく姿を拝見できたことに、皆様から、かけがえのない時間をいただきました。

また、職員からの出し物として、映像を使用したクイズ大会や演奏会を行いました。クイズ大会では昭和の時代を題材とし、映像で出来事や人物など、昔の思い出を振り返り楽しんでいただきました。演奏会は昔に流行した曲を歌い、ご利用者も口ずさみながら演奏に感動している方もいました。

(創立記念祭実行委員長 和田 智二)





部門長に



相談部門 布川 幸子 部門長

★あなたのお仕事内容は？

ご家族や病院などからの入所の相談を受けて入所判定会を行います。入所が可能になり、お受入れの準備を進めます。

高齢や体調でリハビリが受けられない方の退所先を探していきます。入所ご利用者の施設計画書を作成します。

★勤続年数は何年ですか？

8年

★この仕事を始めた理由、きっかけは？

介護保険制度が出来たときに、将来の役に立つと思いヘルパー2級の講習を受けました。ヘルパー2級を取得した時に、ききょう苑が建設中で「ここで働きたい」と思いました。

★働くうえで心掛けていることは？

相談を受けている際にゆっくりと話すことや、略語や介護用語は使わないように心がけています。

体調管理

★仕事をしていて大変だと思う事は？

特にありません。

★今後の老人施設についてどう思いますか？

AI 機器などの導入が進み、人と人との関わり方やコミュニケーションの取り方等が、大きな課題になっていくと思います。

★今後頑張っていきたいこと、目標は？

いつまでも楽しく過ごせるように・・・筋力アップに努めたいです。

★休日の過ごし方と趣味は？

ホットヨガとサウナで汗を流しています。時々「今日は1歩も外に出ない」と決めて1日中パジャマで映画等を見ている時もあります。

栄養部門 木我 みな美 部門長

★あなたのお仕事内容は？

入所者1人ひとりの栄養状態や嚥下機能、食の嗜好に合わせて栄養管理をおこなっています。

★勤続年数は何年ですか？

ききょう苑では8年になります。

★この仕事を始めた理由、きっかけは？

食事が人を元気にする力を近くで感じたくて、高齢者の方の食を支える仕事を選びました。「美味しいね」の言葉が原動力です。

★働くうえで心掛けていることは？

ご利用者が食べる楽しみを感じられるよう、お寿司バイキングやフルーツバイキングなどのメニューを取り入れ、食を通して生活の質を高めることを心がけています。

★仕事をしていて大変だと思う事は？

体調や嚥下機能の変化が食欲や食事量に直結します。限られた条件の中で、できるだけ本人の負担が少なく、おいしく食べてもらう方法を考えることは難しいです。

★今後の老人施設についてどう思いますか？

今後はより個別性の高いケアが求められると思います。食事面でもその方らしい「楽しみ」につながる支援が大切になっていくと感じます。

★今後頑張っていきたいこと、目標は？

栄養面からご利用者の生活の質をさらに向上できるようにしたいです。行事食やイベントを通して「食べる楽しみ」を広げたいと考えています。

★休日の過ごし方と趣味は？

休日は美味しいものを食べたり、好きなアーティストのライブに行っています。

詩吟披露会開催

10月14日、ききょう苑に吟道静修流の皆さまをお迎えし、心に響く詩吟の披露会を開催しました。

力強さと静けさが調和した吟声がホールに広がり、ご利用者の皆さまは深く聞き入り、豊かな時間を過ごされました。



また、日頃のご活動と今回のご厚意に感謝の意を表し、施設長より吟道静修流の皆さまへ感謝状を贈呈いたしました。



温かい交流のひとつとなり、ご利用者・職員一同、心より御礼申し上げます。今後も地域の皆さまとのつながりを大切にしなが、豊かな文化に触れる機会を提供してまいります。

(介護部門 主任 壬生 利浩)

「緊急時の対応」研修開催

昨年10月に、伊勢原市消防本部の職員をお呼びし、職員を対象とした、「緊急時の対応」研修を開催しました。

「AEDの使用法」「気道確保法」、「異物除去法」について、消防本部職員から講義、実演を受講したのち、職員が実技を体験しました。



参加した職員からは「実際に使用する場面にも遭遇することなく、忘れてしまっていた事もありました。改めて勉強することが出来て良かったです。」「学んだことは緊急時対応に活かせるようにしたい。」などのコメントがあり、好評の内、終了いたしました。

教育委員会では定期的に消防本部の方をお呼びし、研修を実施することで、職員の知識、実技レベルの向上を図っております。

(教育委員会 委員長 久場 徹)

編集後記

2026年は、2月に冬季オリンピックがイタリアのミラノ、コルティナ・ダンペッツォであり、6月にはFIFAワールドカップ2026大会がアメリカ、カナダ、メキシコで開催されます。イタリアもアメリカも日本と時差がかなりあるので、寝不足な日々が続くそうです。

皆様の良い一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。厳しい寒さが続いておりまので、どうぞご自愛ください。

(総合企画部 主任 田島 拓也)